

平成29年度学校自己評価システムシート (県立川口青陵高等学校)

目指す学校像	「学舎のルールを大切に」精神を基に、主体的に学び、自立できる生徒を育成し、地域との「協働」に挑戦する学校
--------	--

重点目標	1 学習支援を充実させ、生徒の「学び」を多角的に評価することで、伸びる生徒をさらに伸ばす。 2 基本的な生活習慣の確立から自律心と社会性を身に付けさせ、3年間を見通した進路指導を実現する。 3 学校の情報発信と地域との「協働」を積極的に推進し、社会に貢献できる生徒を育成する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	9名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (3 月 2 3 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	【現状】 ○昨年度より朝学習を実施し、学習習慣の定着により成果が見られた。 ○資格取得に取り組んでいるが、上位級の合格者が増えることよい。 ○教員相互授業観察を実施し、授業改善に取り組んだ。 【課題】 ○学校全体で生徒の基礎学力を高める仕組みが必要である。 ○研究授業や教員相互授業観察を実施し、教員研修を推進し指導力向上に努める。	○学習意欲を高め、伸びる生徒をさらに伸ばす。 ○組織的な学習支援体制を充実させることにより、指導力向上を目指す。	①授業はもとより、朝学習や補習の実施により基礎学力を高める。 ②資格取得を目指し、「川口青陵アワード」を積極的に広報し、奨励する。(漢字検定、ワープロ検定、英語検定等) ①教員の指導力向上を図るため、授業公開や研究授業を実施する。 ②教員相互授業観察を行い、教員の授業改善に努める。 ③研究授業や教員相互授業観察を行い、教員の指導力向上に努め、生徒の学習意欲を高める。	①学校評価アンケート「朝学習にしっかり取り組んでいる。」80%以上。 ②「川口青陵アワード」受賞数10%以上。資格取得者数の増加。(3級以上) ①授業公開を年5日実施。初任研・5年研等で研究授業を実施。 ②教員相互授業観察平均3回以上を目指す。 ③学校評価アンケート「授業はわかりやすい。」70%以上。	伸びる生徒を伸ばす指導がほぼ達成。 ①「朝学習にしっかり取り組んでいる。」1年91.0%、2年87.8%、3年80.2%回答。 ②青陵アワード受賞15.8%(昨年6.4%) 漢字検定83名、ワープロ検定150名、英語検定4名、数学検定2名。 指導力向上の取組がほぼ達成できた。 ①授業公開を年5日実施。研究授業を初任研・5年研等で10回実施。 ②教員相互授業観察平均3.4回実施し、指導力向上に役立った。 ③「授業はわかりやすい。」75.3%回答。	A	朝学習を実施して2年目、生徒がしっかり取り組み成果が見られた。今後は組織的な取組に改善していくことを検討する。資格取得を奨励し、青陵アワード受賞者が増えた。来年以降も、さらに上位級の合格者が増えるように、資格取得を奨励し、継続して指導していく。 授業公開や研究授業を実施し、授業改善に役立った。教員相互授業観察を行い、教員の指導力向上に努めた。学校内での学び合いの回数を増やし、さらなる指導力向上に取り組む。
2	【現状】 ○生徒の第1希望の進路を実現させるため、多角的な方法で実現に向けて指導してきた。 ○生徒指導は全職員で実施し、落ち着いた学校生活を送られるようになり、一定の成果が得られた。 ○部活動の加入率70%以上が達成できなかった。 【課題】 ○生徒の進路希望を実現のため、3年間を見通した組織的な取組を実践していくことが必要である。 ○今後も規律を徹底させ、しっかりと学校生活を送れるよう指導していく。 ○学校行事に主体的に取り組む生徒を育成するとともに、部活動の更なる活性化を目指す。	○3年間を見通した進路指導の充実を図る。 ○基本的な生活習慣を確立させるため、生徒指導の充実を図る。 ○学校行事に主体的に参加させ、部活動の活性化を図る。	①3年間を見通した進路行事計画の策定。 ②ベネッセ基礎力診断テストの全学年実施。 ③長期休業中に講習、補習の実施。 ④多様な進路希望に応じたガイダンス・面接指導の実施。 ①挨拶の励行。 ②整容指導の徹底。 ③交通マナーの徹底。 ④全教員で一斉指導の実施。	①進路未決定者数を0に近づける。 ②ベネッセ基礎力診断テストの1・2年で年3回実施。3年で年2回実施。 ③長期休業中に講習を実施。 ④学校評価アンケート「進路指導は充実している。」85%以上。 ①学校評価アンケート「挨拶・言葉遣いができている。」90%以上。 ②学校評価アンケート「服装や頭髪等のルールを守っている。」90%以上。 ③校外での交通安全指導日数。 ④月1回一斉指導を実施。	進路指導の充実がほぼ達成できた。 ①進路未決定者3/23現在16名。 ②全学年で学期ごとに実施。 ③夏季・冬季休業中、進学志望者対象の講習を全学年で実施。 ④「進路指導は充実している。」91.1%回答。 生徒指導の充実がほぼ達成できた。 ①「挨拶・言葉遣いができている。」93.6%回答。 ②「服装や頭髪等のルールを守っている。」96.5%回答。 ③校門での指導を毎日実施。通学路での指導を年間35日実施。 ④月1回全教員で一斉指導を実施。	A	3年間を見通した進路行事計画を策定し、生徒の第1希望の進路実現に向けて指導してきた。進路未決定者については、今後も継続して指導を行っていく。 生徒指導は全職員で実施し、落ち着いた学校生活を送られるようになり、一定の成果が得られた。今後も継続して規律を徹底させ、しっかりと学校生活を送れるよう指導していく。 各部活動のHPには、学校行事や大会結果の情報発信を積極的に行ったが、部活動の加入率70%以上が達成できず。来年度は学校行事をさらに盛んにさせ、生徒会活動と連携し、生徒の活躍する場面を増やし、さらなる部活動の活性化を目指す。
3	【現状】 ○PTA・後援会と連携し、学校行事を運営することができた。今後もPTA・後援会からの意見を受け止め学校運営に活かしていく。 ○HPをリニューアルし、積極的な情報発信を行うことができた。今年度も継続して実施する。 【課題】 ○今後もPTA・後援会と連携して生徒の健全育成を図り、学校運営に活かしていく。 ○地域への貢献活動を積極的に推進する。	○PTA・後援会との連携を図る。 ○地域との協働を図るとともに、魅力ある情報発信を行う。	①学校評議員会・学校懇話会・PTA理事会・PTA総会での意見や要望を学校運営に活かす。 ②PTA後援会役員の学校行事での参加者数を増やし、連携を図る。 ①学校説明会や学校見学会の工夫改善を図り、中学校訪問を全教員で実施する。 ②HPによる学校の情報発信を積極的に行う。 ③地域に貢献するため、他校種との交流の実施や校外において積極的に奉仕活動に参加する。	①学校評価保護者アンケート「本校に入学してよかった。」あてはまる・ほぼあてはまる。(入学満足度90%以上) ②PTA後援会役員の学校行事での参加者数。 ①学校説明会や見学会参加者数の延べ1200人以上。(H28 1192人) ②HPのアクセス数毎月平均8000回以上。(H28 月平均8528回) ③ふれあいクリーン作戦を年間10回実施。他校種との交流参加者数、校外奉仕活動・ボランティア活動の参加者数。	PTA・後援会との連携が概ね達成できた。 ①「本校に入学してよかった。」87.1%回答。 ②学校行事に延べ251名参加。理事会等の会議に延べ328名参加。 地域貢献と情報発信がほぼ達成できた。 ①説明会・見学会延べ1679名参加。 ②3/12現在HPのアクセス数112208回、月平均10200回目標達成。 ③地元3校と小高交流事業を実施、15日間で生徒延べ190名派遣。ふれあいクリーン作戦を年間10回実施。	B	PTA・後援会と連携し、学校行事を運営することができた。今後も保護者からの意見を受け止め、学校運営に活かしていく。 学校説明会等で延べ1679人の参加、HPでは学校行事等を積極的に情報発信することができた。小高交流事業の実施により、生徒の自己存在感や有用感を高めることができた。3校からは来年度も継続実施の依頼があった。地域への貢献活動を積極的にを行い、地域から信頼される学校を目指す。

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成30年2月9日	
学校関係者からの意見・要望・評価等		
<p>朝学習を実施することで、落ち着いた環境で授業に取り組んでいる。授業見学を行い、習熟度別で実施している1年生数学の授業では、教材のメリハリがあり学力に応じた授業をしていることが分かった。</p> <p>先生が生徒に教えるだけでなく、生徒同士で教え合う授業や、先生が質問して、生徒同士で考えて答えを出す形式の授業である協調学習に取り組んでいる。引き続き、協調学習等のアクティブラーニングに積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>生徒会本部の生徒が毎週火曜日に挨拶運動を実施し、挨拶ができる生徒が増えた。日頃から、生徒自ら挨拶ができるようになった。</p> <p>服装や頭髪のルールについて、先生方の整容指導により生徒規範意識が高まり、しっかり守っている。</p> <p>総合的な学習の時間に、就職希望者が企業に、進学希望者が大学や専門学校へ見学や体験に行く機会があり、進路指導の良い機会になっている。継続して実施していただき、進学のための進路指導をさらに充実させて欲しい。</p> <p>学習指導と部活動指導の両方を指導しなければならないことで、先生方の時間の使い方が大変になっていると感じた。両方が良い形で進んでいくことを望む。</p> <p>川口青陵高校は、生徒を育む教育ができています。先生方が真剣に取り組み生徒へのサポート体制が出来ているので、引き続きお願いしたい。</p> <p>先生方の熱意は、PTA・後援会によく伝わっている。これからもPTA・後援会と連携し、協力体制をお願いしたい。</p> <p>小高交流事業により、地域からの評価が良くなってきている。継続して実施していただきたい。地域と強く結びつく子供達が増えていくことを希望する。</p>		